

全昼光型メタルハイドランプ式耐候性試験

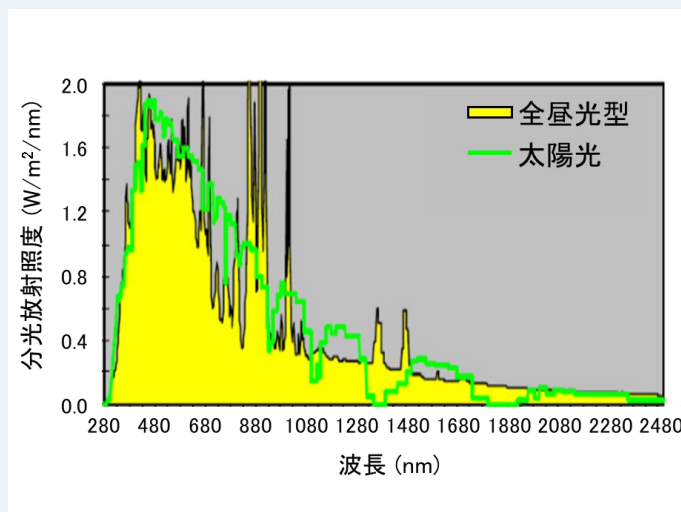
本試験機のメタルハイドランプは、太陽光との相関性に特化しており、波長分布は紫外だけでなく可視、赤外も太陽光に近似しています。そのため、高い演色性(自然光が当たった時の色の再現性)を有するだけでなく、赤外線領域の光による輻射熱が材料の劣化に与える影響も考慮されます。

多くの耐候性試験機とは異なり、試料を試験機内に静置(平置き)し、上部から光を照射します。屋外、屋内用のフィルタを選択し、放射照度、試験温度、湿度を設定します。実環境に対応した複雑な温湿度プログラムを設定することも可能です。暴露後は、外観観察、色差測定、強度測定、表面分析等の評価を行います。

試験機名称	ATLAS社製 Solar Simulation Environmental Chambers SEC600 メタルハイドグローバルランプ(MHG)型 耐候性試験機	
条件	有効照射面積	500 mm × 600 mm
	放射照度	800 W/m ² ~1200 W/m ² (280 nm~3000 nm)
	温度	-20°C~120°C (照射時) -40°C~100°C (暗黒時)
	湿度	20 %RH~80 %RH (照射時) 30 %RH~95 %RH (暗黒時)
試験規格	ISO 9022-9, DIN 75 220, BMW PrV306, VW PV1211等	



試験機外観と光源



分光放射照度

CERIは国内唯一の試験受託機関です。